

情報保護に対する直接的な対策

個人情報へのアクセス制御

データベース保護

特権 ID 管理

- 特権ユーザによるデータへのアクセスをコントロール
- アクセスするアプリケーション、時間帯を限定

ログ取得

- ネットワーク経由、ローカルアクセス全てのアクセスをキャプチャ
- アラートによるリアルタイム検知
- 性能面への影響を最小化

特権 ID でもアクセス可能なデータを限定すれば、リスクは大幅に減ります。



暗号化

- 格納データだけでなくバックアップファイル等、多層を対象
- 暗号化、復号による性能面への影響を最小化

データマスキング

- ユーザの権限やクライアントに応じてデータをマスキング
- アプリケーションの改修無く、データベースで完結する実装

特権 ID であっても、操作できる範囲を限定することが可能です。(参照のみ可等)

ログ取得

- アクセスログ(動画形式、テキスト形式)
- 操作内容を読み取り易い形式のログ取得
- ポリシー変更履歴は全てログに記録
- 改ざん、削除不可能な形式のログ取得

12	Sep	2009	21:33	P	HOST	telnet	202	4	192.168.XX	/usr/sbin/inet
12	Sep	2009	21:33	P	HOST	telnet	58	4	192.168.XX	/usr/sbin/inet
12	Sep	2009	21:38	F	SH	ssh				
12	Sep	2009	21:38	F	SH	ssh				
12	Sep	2009	21:31	P	HOST	ftp				
12	Sep	2009	21:31	P	HOST	ssh				
12	Sep	2009	21:31	P	HOST	ssh				
12	Sep	2009	21:31	P	HOST	ssh				
12	Sep	2009	21:31	O	HOST	LOGOUT				



アクセス制御

- 特権 ID であってもファイル操作できる範囲を限定(参照のみとする等)
- 他サーバ、端末への接続制御により情報漏えいを防止
- サーバ管理を行う端末以外からの接続を禁止
- 特権 ID のパスワードの管理、承認済みのログインのみを許可

ファイルサーバ暗号化

- 共有データを暗号化し、特定の PC、かつ、アクセス権のあるユーザだけに復号して参照する権限を付与
- ファイルサーバ上のデータを直接別のサーバ、PC にコピーしても参照不可

改ざん、削除不可能な形式でログを取得するため、不正行為の抑止や問題発生時の調査などに利用できます。

個人情報の持ち出し制御

デバイス制御

- 赤外線や Bluetooth、イメージングデバイス等、業務で利用しないデバイスを使用できないように制御

持ち出し制御

- USB メモリや外付け HDD、CD/DVD へのデータ持ち出しをユーザ毎に制御
- 承認されていないファイルの書き出しを禁止

操作ログ取得

- ログオン / ログオフ、ファイル操作、外部媒体へのファイル書き出し操作等のログ取得
- ファイル操作のトレース

不正接続検知・遮断

- 未登録端末の接続を検知
- ネットワークから遮断

仮想化

画面イメージのみ転送します。アプリケーションはサーバー側で稼働し、データも端末にダウンロードさせない設定が可能のため、情報が漏洩することなく安全です。

シンクライアント化

- ローカル PC のドライブ制御 (USB ディスク無効化)
- HDD そのものが無い PC 利用 (シンクライアント端末)

個人情報を持ち出す際の保護

ディスク暗号化

- フルディスク暗号
- 独自ログイン認証

無線アクセスポイント制御

- 端末毎にアクセス可能 SSID を限定
- SSID ステルスにも対応
- ユーザが勝手に SSID を追加してもネットワークから自動的に遮断

個人所有のスマートフォンのテザリング、モバイルルータ等へのアクセス制御も重要です。

外部媒体暗号化

- ファイル書き出し時は、強制的に暗号化
- 許可された USB メモリだけを利用許可

メール制御

- メールの件名 / 本文 / 添付ファイルの内容をチェックし、個人情報を含むデータは送信をブロック
- メールの添付ファイルを自動暗号化
- 上長のアドレス等を CC に自動追加
- メールの一時保留による誤送信防止

Web 制御

- ファイルの内容をチェックし、個人情報を含むファイルはアップロードを禁止
- データアップロードは許可されたサイトのみ

情報保護に必要な基盤

パスワードの抽出

特権 ID 管理

- 利用申請ワークフロー
- パスワード抽出
- パスワード隠蔽ログイン

ID 情報の自動収集

不要な ID を削除することで、不正行為の踏み台としての利用を未然に防止します。

ID 棚卸

- ID 棚卸作業の自動化
- 定期的な ID 棚卸作業により、不要な(不正作成、削除忘れ、休眠) ID を発見、不正利用を防止

統合 ID 管理

- ID 情報を統合的に管理し、各システム、アプリケーション、OS 等に自動配信
- Web GUI 画面より、ID 情報をリアルタイムに変更可能
- パスワード変更画面より全システムのパスワードを更新

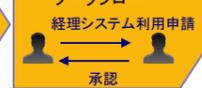
申請・承認ワークフロー

- ID 情報に関する申請 / 承認ワークフロー
- 多段階承認、代理承認など多彩な機能を提供

ID 登録ワークフロー



システム利用申請ワークフロー



ID 管理

統合ログ管理

- 各種 OS、アプリケーションテキストログの一元収集
- テキストログを約 1/10 のサイズで保存可能
- 特定ユーザの行動追跡が即座に検索可能

ログのレポート

- ログのモニタリング負荷を大幅に削減
- 不正操作を早期に発見
- 申請外ログインを自動的に発見
- 定期モニタリングによる傾向分析から不正 / 違反を検知し、即座に対応可能

ログを定期的にチェックすることで大量データのダウンロード等通常処理と異なる異常値の発見が可能になります。

ログ管理

IT 資産管理

- 社内ネットワークに接続されている IT 機器の探索、発見、管理
- 資産管理台帳の作成

インベントリ情報収集

- ハードウェア情報取得
- システム情報取得
- 導入アプリケーション情報取得
- セキュリティ情報取得

セキュリティチェック

- 必須設定、必須セキュリティソフトの導入状況チェック
- 不正ソフト導入チェック
- アプリケーション起動抑止
- ルール違反 PC へのアクション (通知、ネットワーク遮断)

リモート配布

- Windows パッチ等の配布適用
- アプリケーションのリモート導入

リモート操作

- 遠隔から PC をリモート操作
- 操作を録画することも可能

IT 資産管理

社内 IT 資産の正確な把握がセキュリティ対策の第一歩です。

IT 資産管理、不正接続検知・遮断セキュリティチェックサーバ



管理者

データベース保護

- Oracle Database Vault
- Oracle Advanced Security オプション

■ Oracle Database Vault

データベースに格納されたデータの特権データベースユーザによるアクセスから保護します。時間帯や IP アドレス、アプリケーション名、認証方式等の条件に基づいてアクセス制御を行ない、データの保護をさらに強化します。

■ Oracle Advanced Security オプション

機密性の高いデータと、バックアップデータの暗号化により、メディア盗難にも備えることができます。また、開発環境で本番データを使用する際、メモリ上でデータをマスキングすることで、安全性と工数削減を両立します。

- ◆ PCIDSS、SOX 法など各種法に対応
- ◆ 職務分掌やリアルタイムに予防的統制を実施
- ◆ アプリケーションや性能への影響を与えない



PISO

データベースへのアクセスをロギングすることで内部、外部からの不正アクセスを追跡、アラート機能によりリアルタイムの検知を可能とします。メモリから情報を抽出することで I/O、CPU 負荷を与えずに正確な監査を実現します。

- ◆ DB 監査製品シェア No.1
- ◆ 大量検索など情報漏えいの危険性もリアルタイムに検知
- ◆ システムへの負荷を最小限にするアーキテクチャ



情報漏えい対策

秘文

ハードディスク・メディア・メール添付ファイルの暗号化や USB メモリ等の外部デバイスへの持ち出し制御で情報漏えいを防止。また、対策状況を把握 / 自動チェックする仕組みを備え、PDCA サイクルに沿った理想的なセキュリティ環境を実現します。

- ◆ 情報漏えい対策製品シェア No.1 ! (暗号化・持ち出し制御分野)
- ◆ 規模の大小を問わない豊富な導入実績
- ◆ スマートデバイス、無線 LAN 等の新しい流出経路にも対応



- CA ControlMinder
- CA ControlMinder Shared Account Management

各種 OS ユーザのアクセス制御を実現し、改ざんや情報漏えい等の脅威からサーバを保護します。また、OS / データベース / ネットワーク機器のパスワード管理や利用申請ワークフローを提供します。それら全ての操作内容をログとして記録するため、監査や有事の際の復旧にも有効です。

- ◆ アクセス制御製品シェア No.1
- ◆ OS 機能では難しい特権 ID のアクセス制御を実現
- ◆ 監査対応に有効な詳細で解りやすいアクセスログ
- ◆ 特権 / 共有 ID 管理を低コストで実現



仮想化

Ericom

アプリケーションやデスクトップはサーバ側に集約し、クライアント側には接続機能のみを搭載します。さらに、クライアント側のローカル HDD や USB メモリに、データを保存させない設定を行うことができるため、重要な企業データの漏えいを根本から防止します。

- ◆ アシスト一押しのクライアント仮想化製品
- ◆ PC だけでなく、タブレットやスマートフォンなどさまざまなデバイスからのアクセスが可能
- ◆ 低価格でワークスタイル変革を実現



資産管理・ネットワーク接続制御

- JP1/IT Desktop Management (※ クライアント数 1001 台以上)
- Hitachi IT Operations Director (※ クライアント数 1000 台以下)

常に最新のハードウェアやソフトウェアのインベントリ情報を把握可能です。導入必須または禁止されているソフトウェアの有無や Windows パッチの適用、PC の必須設定等、決められた社内ルールに対し、ルールに沿わない PC をネットワークから自動的に遮断するようなセキュリティ対策も行えます。

- ◆ PC 管理に必要な機能を低価格かつオールインワンで提供
- ◆ エージェントレスでも情報収集が可能
- ◆ 管理者に優しい直感的な操作画面を提供



ID 管理

LDAP Manager / ID 棚卸キット

ID 情報を一元管理することにより煩雑な ID 管理の負荷を軽減してヒューマンエラーを防止します。また、定期的な ID 棚卸による不正 ID の早期発見によりセキュリティを向上することが可能です。更に、パスワード情報を一元化することにより、パスワードのメモなどを未然に防止し、パスワード漏洩も防止します。

- ◆ 日本企業のために開発された統合 ID 管理ツール
- ◆ 豊富な導入実績、充実した連携モジュール
- ◆ 導入、設定が容易、低コストで構築可能
- ◆ ID 棚卸キットとの併用で ID 管理における PDCA サイクルを実現



LogRevi (ログ・レポート)

ログからアラートの発生状況を自動集計し、1 画面で確認できるモニタリングツールです。1 画面に複数レポートを表示したり、同一レポートの過去から現在までの履歴を表示できます。申請情報とログの突合せレポートも作成できます。

- ◆ 独自の超高速検索エンジンを搭載
- ◆ ログの定期チェックにかかる時間と手間を軽減
- ◆ ログの活用シーンをさらに拡大



ログ管理

Logstorage (統合ログ管理)

国内トップクラスの実績を誇る統合ログ管理システムです。独自のアーキテクチャにより、ログの高圧縮を実現し、ログ管理に対する様々なニーズに対応します。また、スモールスタートからの導入、短期間での実装が可能で、拡張も容易です。

- ◆ 国内トップクラスを誇る豊富な導入実績
- ◆ 使いやすい Web アプリでログ検索を簡単に実現
- ◆ 小規模から大規模まで規模に応じた拡張性

